

- 民産学官の多様な主体が、それぞれの役割を認識し、得意とするノウハウ・技術やアイデアなどを結びつけ、相互に連携してみどりのまちづくりを推進
○計画期間の中間年である2030年度（令和12年度）を目途に、外部有識者で構成する場を活用し、取組みの進捗状況などについて評価・点検
⇒必要に応じて見直しを実施